広報
金武
No.474
平成20年（2008）
8月号

人口のうごき

総人口11,070人（−2）
男　5,467人（−1）
女　5,603人（−1）
世帯数　4,800戸

（各区別人口）平成20年6月末日現在
金武4,815人（−6）転入27人
並里2,690人（−9）転出34人
中川　921人（ 1）出生10人
伊芸　934人（ 7）死亡 5人
屋嘉1,710人（ 5）結婚 6件
離婚 2件
（ ）内は増減を表す

▲テープカットのようす

祝ネイチャーみらい館落成

※関連記事2ページ

発行：金武町役場　編集：総務課広報係　電　話（NTT）968-2111（有）8-2111　印　刷：（株）平山印刷　電　話　889-8748

祝 ネイチャーみらい館落成式・祝賀会

7月30日、億首川河口付近に体験学習施設ネイチャーみらい館が完成し、落成式・祝賀会が行われました。

ネイチャーみらい館は沖縄基地所在市町村活性化特別事業(島懇事業)を利用して造られたもので、マングローブカヌー体験、漆喰シーサーづくり体験、エイサー体験など様々な体験プログラムが用意されており、修学旅行生など団体客で年間3万人の利用を目指しています。

落成式典には、町や県、国の関係者ら約250人が出席し、新しい町の目玉となる施設の完成を祝いました。

儀武町長は「金武町の豊かな自然をいかした施設で、町の観光発展に大きな役割を果たすものだ」と述べ、今後のネイチャーみらい館の発展に期待していました。

なお、ネイチャーみらい館の詳細については、特集にて次号詳しくご紹介いたします。

▲施設の外観のようす

▲施設の内部

特別講演

「日本のがんと放射線治療ー切らずに、無理せずに、がん克服」

6月29日、中央公民館で、がんに対する正しい知識を学ぼうと、東京大学病院放射線科の中川恵一准教授を招いた特別講演「日本のがんと放射線治療ー切らずに、無理せずに、がん克服」(主催:医療法人ほくと会北部病院)が行われました。

講演の中で中川准教授は「日本は世界一のがん大国だが、日本人はがんのことをよく知らずに損をしている。放射線治療は最近、非常に発達している。がんの病巣部だけに放射線をピンポイントで照射できれば、副作用は全くない。放射線治療を希望しない理由を聞くと『完治するか不安』『時間がかかる』『お金がかかる』等だった。これらはみな誤解だ。がん治療といえば日本では手術が常識だが、世界の非常識だ」と述べ、がんに対する日本人の誤解を指摘しました。また「がん治療には早期発見が大事で、がん検診は重要となる。特に子宮頸がん、乳がん、大腸がんは検診の有効性が国際的に証明されている。受けなければ損だ」とがん検診の重要性を訴えました。

▲たくさんの人が訪れた講演会

会場には、町内外から約430人がつめかけ、熱心に講演に聞き入っていました。

現在、本町では、ギンバル訓練場跡地利用の一つとして、最新のがん放射線治療施設の整備を計画しています。医療施設の整備が遅れがちな北部地域の医療発展、施設の整備に向けても今回の講演は良い機会となりました。

子ども達を守れ！

「青少年の深夜はいかい防止」及び「未成年者飲酒防止」

平成20年度 町民大会

7月14日、金武町営グラウンドで、「青少年の深夜はいかい防止」及び「未成年者飲酒防止」平成20年度町民大会が行われました。

大会では仲間一教育長（町青少年健全育成連絡協議会会長）、儀武剛町長、松田義政議会議長があいさつを述べた後、町内小・中学校代表、町内高校生代表、保護者父母代表が意見発表を行いました。

嘉芸小学校6年の安次富一樹くんは「きちんとした生活リズムをつくり、そのとおりの生活をすることが大事。夜の世界は子どもにとって危険。僕は深夜はいかいや飲酒を絶対にしません」と意見を発表しました。また、町内高校生代表の伊芸彩美さん（中部農林高校）は「後悔しないために今の自分の行動を見直さなければならない。未成年の深夜はいかいや飲酒は家族や地域で協力すれば防げる。地域の意識が変われば学生や子ども達も変わる」と訴えました。

大会終了後には、父母や教員らが協力してパトロールを行い、児童・生徒の安全を確保していました。

▲一日署長を務めて敬礼

▲意見発表会を行った高校生代表の伊芸彩美さん

▲熱心に聞き入る児童・生徒たち

県産品優先使用要請団が来町

▲役場を訪れた要請団のみなさん

7月1日から7月31日までは県産品奨励月間にあたることから、7月9日には県産品優先使用要請団が金武町役場を訪れ、持参した自社製品をアピールし、町で取り組む事業等での県産品の優先使用を要請しました。

海外通信

海外雄飛の里、金武町。かつて當山久三翁が幾多の困難を乗り越えて移民を送り出してから百余年。現在でもハワイや南米を中心に、たくさんの金武町関係者が生活しております。そこで、今号より「海外通信」のコーナーを新設し、海外で暮らす町関係者の情報を掲載して参りたいと思います。

今回は、金武町役場に送られてきた、在伯（ブラジル）金武町人会の広報を転載いたします。

在伯金武町人会 広報二〇〇八年第八号

朝晩は冷え込み、からからな空気のこの頃、会員の皆様健康管理には十分注意をし元気でこの冬を過ごしましょう。

広報第八号ではミス流装、タノモシ、研修生壮行会、金武町祭の準備などについて報告いたします。

二〇〇八年度 ミス流装コンテストへの参加

去年に続き今年も沖縄文化協会で行われるミス流装コンテストへ金武町人会青年部から代表一人参加します。仲田ベアツリースさん（屋号イリシマブク 仲田正輝、米子さんの孫）。又当コンテストに青年部バンドも招待され初めて町人会行事以外で後援する事に成りました。

シマンチュ美女の仲田さんと青年部バンドを応援してください。

時…七月十三日　日曜日

午後一時より。

場所…ジアデーマ市沖縄文化協会

十五回金武町人会 ボーリング大会

6月1日に町人会ボーリング大会を行いました。参加された50名の会員は楽しい一時を過ごしました。

各参加者は2回試合し、総合点数で競争しました。結果は次のとおりでした。

・子どもの部　優勝　池原　徹
・男子40歳以下
　優勝　尾長　レナート
・女子40歳以下
　優勝　仲田　ミユキ
・男子40歳以上
　優勝　浦崎　直実
・女子40歳以上
　優勝　安富　好子

金武町人親睦タノモシ

去年に始まったタノモシも六月で終わりましたが、多数の参加者からぜひ続けてほしいとの希望がありましたので、七月から毎月第3火曜日に新しいタノモシを始めます。8月までは、現在の体育館に集まってもらいますが、9月からは場所を変える予定です。

参加されたい方は、七月十五日に体育館へ集まってください。

町人会親睦タノモシの第一目的は、毎月シマンチュの仲間達とユンタクが出来るようにと始めたものです。

益々大勢の参加者を御待ちしています。

二〇〇八年度

今年の研修生、仲田リカルド憲義君の出発が七月三十日に決まりました。町人会では壮行会を次のように行う事を決めました。

七月二十七日　日曜日、午後三時より。場所　ドラりーザ街百一番　ヴィラ　カロン警察署の裏。

一品持ち寄りと、宴会費として五レアイス

第三回金武町祭の準備について

皆様が楽しみにしている第三回金武町祭まで後一ヶ月です。金武町から来伯される方々の名簿が着きました。町長、議長を始め役場、議会から十名、区長、区議会会長十名、一般参加者十六名、添乗員二名、計三十八名が確認されています。又ボリビアから三名、アメリカとハワイからも数名来られるそうです。合計で五十名ほどの外国御客様が我々の金武町祭に参加される事になります。役員だけではなく、全会員にとって嬉しい事と同時に大変な責任を感じます。

婦人部は一ヶ月前から踊りを、青年部はエイサーとバンドを毎週練習しています。役員は家庭訪問をし、会員調査、寄付金集め、金武町祭の宣伝をしています。これからは益々いそがしくなります、会員皆様の御支援と御協力をお願いいたします。

町長と町民を結ぶコーナー ゆいまぁる

災害時に応急対策で協定締結

本町は6月30日に、中部電気工事業協同組合(大城　政明理事長)と、災害時の応急対策など災害支援に関する協定書を締結しました。

同協定は、災害現場や避難場所など災害活動の拠点となる施設が被害を受けた場合、その機能をマヒさせないために電気機器の設置等の応急処置を行うなど、円滑な災害支援活動を目的としています。

現在、本町では災害時の第一次配備として町内5業者が配置されておりますが、今回協定を締結した中部電気工事業協同組合は第2次配備として協力していただき、災害応急対策の強化を図って参ります。今後は町、町電業会、中部電気工事業協同組合と協力体制をとりながら、町民の皆様の安全を確保するために共に努めて参りたいと思います。

平成20年度金武町婦人の主張大会

7月25日、中央公民館で行われた平成20年度金武町婦人の主張大会に行ってまいりました。今回は金武区婦人会のレイチェル・スティーブンソンさんと並里区婦人会の伊芸裕美子さんが意見を発表していましたが、レイチェルさんは地域の絆、伊芸さんは命についての意見を述べ、それぞれがとても素晴らしい内容のものでした。金武町代表に選ばれたレイチェルさんには北部大会でも頑張っていただきたいものです。

地域を代表する婦人の皆様が、生活の中で日頃感じている様々な地域への思いを発表されることは大変興味深く、また、現代社会では、女性の持つ豊かな感性と知性がとても重要な役割を持つと考えております。町としましても、婦人の皆様とともに金武町の発展を目指して頑張ってまいりたいと思いますので、女性ならではの視点でご指導をよろしくお願いします。

喜瀬武原水源地清掃
町内十三業者が参加

七月十日、役場職員および町内水道業者十三社が、喜瀬武原水源地の清掃活動を行いました。これは、喜瀬武原水源地にヘドロが堆積しており、二、三年おきに除去作業を行うことで、安全で良質な水道水を安定供給することを目的に行われています。

作業では、水抜きを行った後、泥だらけになりながら約三時間の清掃を行い、堆積していたヘドロを取り除きました。

なお、参加業者は次のとおりです。ご協力ありがとうございました。

(有)仲正組
(有)仲間水道工事社
(有)宮里電水工業
(有)大豊建設
(株)仲間組
(株)丸政工務店
丸仲水道
並里水道工事社
(有)カネタケ電水工業(有)
國場電工
(有)宜野座工務店
(有)栄建設工業
(有)照喜名建設

▲水源地清掃を行った町内業者のみなさん

国体少年女子バレーボール沖縄選抜に選出!
名嘉眞麗乃さん・宮城奈菜子さん

平成20年度国体少年女子バレーボールチームの沖縄選抜に、本町出身の名嘉眞麗乃さん（中部商業3年）、宮城奈菜子さん（西原高校1年）が選出されました。

7月22日には、町役場を表敬訪問し、国体メンバー選出を報告しました。

名嘉眞さんは「九州ブロック大会で自分の納得のいくプレーをして本大会に出場したい」と国体への決意を述べ、宮城さんは「選抜チームで学んだことを自分のチームに持ち帰り、それを活かしてがんばりたい」と今後の抱負を述べました。

▲ 写真左より宮城奈菜子さん、名嘉眞麗乃さん

「平成20年度春の環境月間」
沖縄電力が清掃活動

金武町では、町内の清掃や環境浄化を図るとともに、地域を明るく、住みよい街づくりを推進するため、5月26日から6月27日を「平成20年度春の環境月間」と設定しております。

6月20日には、沖縄電力の職員ら約50人が国道沿いや発電所通りでゴミ拾い等を行い、毎日通り慣れている道をきれいに清掃しました。

▲清掃を行った沖縄電力のみなさん

ひまわり満開!
平成20年度ひまわり鑑賞会

6月27日、ふれあい福祉農園で、町内の保育園児を集めてひまわり鑑賞会(主催:金武町社会福祉協議会)が行われました。このひまわりは、去った4月に行われたこいのぼり掲揚式後に園児達が種をまいたもので、ひまわりはぐんぐん成長し、強く照りつける太陽に向かって堂々とした大きな花を咲かせていました。

園児達は自分の背よりも高くなったひまわり畑につくられた「ひまわりの迷路」の中を駆け回って遊んだ後、抱えきれないほどの花を保育園に持ち帰りました。

▲ひまわりの迷路で迷子中?

▲大きなひまわりもらったよ!

▲みんなそろってハイ、チーズ!!

「宿道(すくみち)」最後の一般公開

金武町で一部確認され、調査が進められていた宿道(国頭方東海道)の一般公開が7月11日から3日間の日程で行われました。

宿道とは琉球王国時代に首里を起点に整備されていた、本島各地を結ぶ、現在でいう幹線道路のような主要道のことです。

現場は億首ダム建設敷地内にあることから、残念ながら今回で最後の一般公開となりました。

公開には一般見学者、関係者らが町内外から多数訪れ、歴史に思いをはせながら宿道を歩いていました。

▲宿道の説明に耳を傾ける見学者

金武町のちょっといい話 Vol.1

記念すべき第１回目の「金武町のちょっといい話」は海の向こうからやってきた平和のメッセージのお話です・・・。

2003年８月30日の早朝、伊芸在住の光永一仁さんが海岸で日課のゴミ拾い中、カプセルを発見しました。何気なく中を開いてみると、中には紙が一枚入っており、そこには幼い文字で「小元」の印鑑と「世界が平和になりますように」とのメッセージが書かれていました。

光永さんがその感動を観光客に話したところ、その方もいたく感動し「そのカプセルと一緒に写真を撮らせてほしい」とお願いしてきました。光永さんは色紙にカプセルと同じ文言を添えて、その写真を飾ることにしました。その色紙はまるで平和を願うリレーのように、次の人、また次の人へと繋がり、現在その数は294枚となりました。平和を願い海にメッセージを託した少年？少女？の思いは金武町で静かに、しかし確実に繋がっています。

光永さんは「このメッセージを見て感動の輪が広がり、何か町ぐるみでアクションを起こしたい。そして発信者を探し出し、町に招待して『あなたのメッセージを見てこんなことができました』と紹介したい。私はそのきっかけとなりたい」と話していました。もしもこれが実現できたら素敵なことですね！

「世界が平和になりますように」

募集しています!

●広報金武では町民の皆様から俳句や短歌、川柳を募集しています。今回はテーマを「自由」といたしますので、どしどしご応募ください!

☆記念にお子さんを広報に掲載しませんか?

●100日祝い、1歳記念、誕生日記念にお子さんを広報に掲載してみませんか?掲載をご希望の方は毎月15日までに、写真と原稿を提出してください。
・写真1点
・原稿（氏名、生年月日、両親の氏名、お子さんへのメッセージor自己紹介文（50字程度））

提出先／役場総務課 行政係 広報担当　TEL 968-2111 有線8-2111　FAX968-2475
E-mail=akinobu_n@town.kin.okinawa.jp
※メールおよびFAXにて提出の際は連絡先も明記してください。

第24回 やんばる産業まつり 出店業者募集

募集対象 北部地域に在する事業者
(個人・企業含む)
募集期間 平成20年8月1日(金)～9月19日(金)まで
出店料 飲食関係　60,000円
特産品関係 35,000円
※別途清掃委託金
1店舗あたり3,000円徴収します。
まつり期間 平成20年10月11日(土)～12日(日)
まつり開催場所 名護市民会館屋外
募集先 各市町村商工会・北部振興会
問合せ先 北部振興会(崎山・掘)
TEL.0980-52-2448
FAX.0980-54-1619
〒905-0006
名護市字宇茂佐1399番地の2
(北部会館1階)

第24回 やんばる産業まつり開催!

まつり期間 平成20年10月11日(土)～12日(日)
まつり開催場所 名護市民会館屋外
まつり内容 ①やんばる特産品・農産水産物等の展示即売
②やんばる料理フェアの試食販売
③国頭村内徒歩ナビ・体験滞在ツアー企画
④アトラクション(市町村伝統芸能)
⑤北海道沖縄芸能交流祭ヨサコイソーランとレキオスとのコラボ
※名護漁港～名護市民会館までの間送迎バスピストン運行
問合せ先 北部振興会(宮城・比嘉(和))
TEL.0980-52-2448
FAX.0980-54-1619
〒905-0006
名護市字宇茂佐1399番地の2
(北部会館1階)

障害のある方を対象とした NHK 放送受信料の免除基準が変わります

NHK

平成20年10月1日から免除基準が次のとおり変わります

【全額免除】
●「身体障害者」「知的障害者」「精神障害者」が世帯構成員であり、世帯全員が市町村民税(住民税)非課税の場合に、全額免除となります。
※従来の「身体障害者」「重度の知的障害者」から対象を拡大します。
※生活状態の条件を「市町村民税非課税」に統一します。

【半額免除】
●視覚・聴覚障害者が世帯主の場合に、半額免除となります。
※視覚・聴覚障害者の免除基準の変更はありません。
●重度の障害者(身体障害者、知的障害者、精神障害者)が世帯主の場合に、半額免除となります。
※従来の「重度のし体不自由者」から対象を拡大します。

受診料についてのお問い合わせ ナビダイヤル 0570-077-077

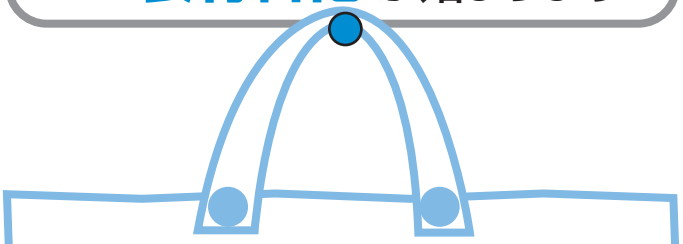
『広報　金武』9月号掲載依頼　掲載内容

IT・コールセンター　フォーラム&合同企業説明会 マッチング促進事業　北部地区

場　所 名護市民会館中ホール
日　時 10月2日(木)13時～17時(予定)
対象者 北部地区の高校・専門学校の新卒者、一般求職者
参加費 無料
問合せ先 財団法人 雇用開発推機構(エンパクト)
TEL　098-859-6140

スタート!! ゴミ減量　ストップ!! 地球温暖化

レジ袋有料化が始まります!



マイバック持参にご協力をお願いします。

レジ袋の有料化を下記の事業所店舗で行います。

2008年10月1日から

- ＊Aコープ（全店舗）
- ＊タウンプラザかねひで（全店舗）
- ＊沖縄三越豊崎マイキッチン
- ＊サンエー（食品売り場 全店舗）
- ＊ジミー（那覇店・大山店）
- ＊ユニオン（全店舗）
- ＊丸大（全店舗）
- ＊リウボウストア（食品売り場 全店舗）
- ＊コープおきなわ（全店舗）
- ＊ジャスコ（食品売り場 全店舗）
- ・マックスバリュ（全店舗）

「ツール・ド・おきなわ2008」大会

期日：平成20年11月8日（土）・9日（日）

内容：国際ロードレース　3種目
市民レース部門　7種目
市民サイクリング部門　8種目
一輪車競技大会

募集期間：平成20年8月1日(金)～9月30日(火)
※一輪車大会:
平成20年9月1日(月)～9月30日(火)
※但し、定員に達し次第締切ります。
申込方法：公式HPにて。アドレスは
→www.tour-de-okinawa.jp
または、参加申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて、現金書留にて大会事務局に郵送か、直接お申込ください。

≪お問い合わせ≫
NPO法人 ツール・ド・おきなわ協会（大会事務局）
TEL：0980−54−3174

●植物検疫　病害虫のまん延防止にご協力ください。

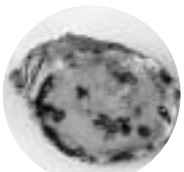
沖縄・奄美・トカラ・小笠原には、さつまいもなどに被害を与える害虫が、また、沖縄・奄美の一部ではみかん類に被害を与える病気が発生しています。これらの病害虫のまん延を防止するために、一部の植物は法律によって発生地域からの持ち出しが規則されています。違反すると罰せられることがありますのでご注意下さい。

持ち出せないもの		発生地域
植　物	害　虫	
さつまいも(紅いも等)※1 ヨウサイ(エンサイ) あさがお ぐんばいあさがお 等の生茎葉及び地下部	アリモドキゾウムシ イモゾウムシ サツマイモノメイガ アフリカマイマイ	沖縄県全域 奄美群島 トカラ列島 小笠原諸島

から STOP

移　動　先
本　土

※1さつまいもは消毒(蒸熱処理)すれば持ち出せますので、事前に最寄りの植物防疫(事務)所へお問い合わせ下さい。



アリモドキゾウムシによる被害さつまいも

持ち出せないもの		発生地域
植　物	害　虫	
かんきつ※2 ゲッキツ ゾウノリンゴ 等の苗木類 果実及び種子は除く	カンキツグリーニング病 ミカンキジラミ	沖縄県全域 徳之島 沖永良部島 与論島

から STOP
から STOP

移　動　先
本土、小笠原諸島・トカラ列島、奄美群島
本土・小笠原諸島 トカラ列島・奄美群島 沖縄県全域　※喜界島

※2みかん属、からたち属、きんかん属、ゲッキツの苗木類は検査を受ければ持ち出せますが、検査に長期間を要しますので、事前に最寄りの植物防疫(事務)所へお問い合わせ下さい。

※喜界島はカンキツグリーニング病菌の緊急防除区域ですのでかんきつ等の苗木類の移動が禁止または制限されています。

カンキツグリーニング病

ぐんばいひるがお

ゲッキツ

ミカンキジラミ(大きさ約3mm)

●さつまいも加工品、熱熱帯果実などは自由に持ち出すことができます。

発生地域から上記の持ち出せないものが届いたら最寄りの植物防疫所へ連絡して下さい。

「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付申請

■限度額適用・標準負担額減額認定証とは

後期高齢者医療制度では、入院時の一部負担金と食事代を減額するための「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けることができます。

■入院時における自己負担限度額

所得区分	入院時の世帯単位の自己負担限度額(月額)	標準負担額(入院時の1食当たりの食事代)		減額証の発行
低所得Ⅰ	15,000円	100円		○
低所得Ⅱ	24,600円	90日までの入院	210円	○
		過去12カ月以内に90日を超える入院	160円	○
一　般	44,400円	260円		×

■該当する方

低所得Ⅰ▶世帯員全員が住民税非課税で、その世帯の各所得が必要経費・控除(年金所得は控除額を80万円として計算)を差し引いたとき0円となる方

低所得Ⅱ▶世帯員全員が住民税非課税の方(低所得Ⅰに該当する方を除く)

■手続き方法

申請した月の初日から適用となります。該当すると思われる方は、「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を申請してください。

■すでに「限度額適用・標準負担額減額認定証」をお持ちの方へ

現在お持ちの減額認定証の有効期限は7月末日です。有効期限が過ぎると使用できませんので、更新手続きが必要となります。

■申請に必要な物

・後期高齢者医療被保険者証
・印鑑

■問い合わせ・申請先

金武町役場　住民生活課　保険・年金係
TEL　098-968-3557
有線電話　8-3557

後期高齢者医療制度の窓口職員および徴収員を紹介します。

写真左から
金城明美(窓口)、小橋川加奈子(窓口)、池原直美(徴収員)

問い合わせ先　金武町役場 住民生活課
NTT 098−968−3557　有線 7−2032

農業集落排水

平成20年度より並里・金武地区農業集落排水事業管路工事（下水道整備工事）が始まります。

編集後記

ネイチャーみらい館が落成いたしました。落成式の取材で初めて完成した施設を見学しましたが、緑の中に白い外壁と赤瓦が映える、とても美しい施設でした。ネイチャーみらい館は自然体験学習施設ということで、様々な体験プログラムが用意されています。キャンプ場等も整備されておりますので、皆様もぜひ足を運んで、金武町の豊かな自然を楽しんでみてください。

自然といえば最近自然と戯れることも無くなってしまいました。遊ぶことといえばもっぱら室内です。

今は子どもたちも外で遊ばなくなったとよく耳にします。ここは大人が率先して外に繰り出し、自然と戯れてみましょう。童心にかえって海や川で遊んだり、バーベキューや屋外スポーツなんかもいいですね。きっと良いリフレッシュになると思います。考えるだけでなんだかワクワクしてきますね！

さあ、たまには冷房の外に出て、太陽の光を思いっきり浴びてみようじゃありませんか！そしたらきっとこう思うでしょう。

「暑い・・・」と。